

東毛ワクチン接種センターにおいて確認された モデルナ社製ワクチンの異物の調査結果について

本日、厚生労働省より「8月29日に東毛ワクチン接種センターにおいて確認されたモデルナ社製ワクチン（COVID-19 ワクチンモデルナ筋注）の異物については製品のゴム栓様である可能性が高く、同一ロットの他のバイアル（瓶）の有効性及び安全性に問題無い」との発表がありました。

当該発表を受け、厚生労働省に直接調査結果を照会し、安全性が確認できたことから、センター内に保管されている同一ロットの他ワクチンの使用を、明後日から再開することとします。

なお、調査結果に至る経緯及び今後の対応については以下のとおりです。

1 調査結果に至る経緯

- (1) 本日（8月30日）9時30分頃に異物混入があった1バイアルを武田薬品工業(株)が回収・調査。
- (2) 本日（8月30日）16時過ぎ、厚生労働省の発表を受け、厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課に同一ロットの他のバイアル（瓶）の使用再開について確認。

2 今後の対応

- (1) 異物混入が確認された1バイアル（瓶）と同一ロット番号の他のバイアル（瓶）については、9月1日（水）より使用を再開します。使用にあたっては、引き続き変色、異物の混入がないか目視で入念な確認を行います。
- (2) 本件について、県民の皆様にご安心いただけるよう、県ホームページや県営ワクチン接種センターへの掲示で情報発信を行います。